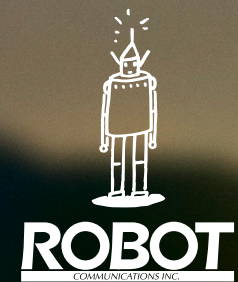


地方創生プロジェクト
事例紹介



地域 × ストーリー

エンターテインメントを地方創生のソリューションに。

ひとのココロを動かすあらゆるコミュニケーションには「ストーリー」が必要不可欠。

わたしたちROBOTは、そう考えます。

ここで云う『ストーリー』とは、映画やドラマの『作り物のお話』のことだけではありません。

たとえば、『地域の風土』、『受け継がれる歴史』、『名産品を生み出す作り手の想い』、

あらゆるところにひとのココロを動かすストーリーのヒントが存在します。

埋もれたストーリーの断片を、地域の皆さんと一緒に掘り起こし、

映像技術とデジタル技術でエンターテインメントに磨き上げる。

ひとのココロを動かすことで、結果として、ひとが動き、観光や産業に活力が満ちる。

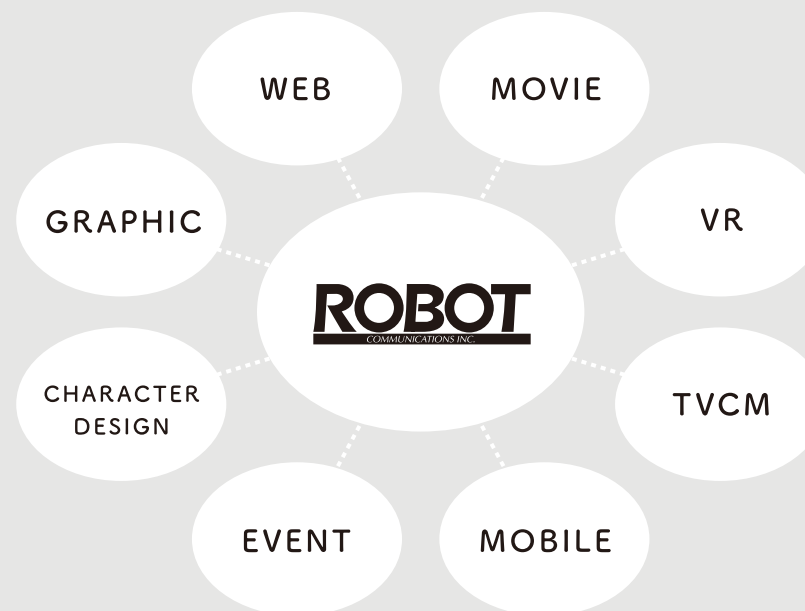
それが、わたしたちROBOTが考える地域活性化のためのコミュニケーションです。



WHAT'S ROBOT ?

「ロボットは、エンターテインメントを通じて、
勇気と希望を社会に与えていく会社です。」

1986年設立。これまでに計80本を超える『劇場映画』や、
年間150本を超える『TVCM』などの制作をはじめ、
『ドラマ』、『アニメーション』、『グラフィックビジュアル』、
『キャラクター』、『ウェブサイト』、『モバイル』など、
幅広い領域でのコンテンツ開発を行ってきました。



MOVIE



ALWAYS 三丁目の夕日 '64
2012年11月21日公開 監督:山崎貴
©ALWAYS 三丁目の夕日'64製作委員会



STAND BY ME ドラえもん
2014年8月8日公開 監督:八木竜一・山崎貴
©映画STAND BY ME ドラえもん製作委員会
2015年 第38回日本アカデミー賞
最優秀アニメーション作品賞



劇場版 MOZU
2015年11月7日公開 監督:羽住英一郎
©劇場版「MOZU」製作委員会
©漁坂順/萬英社



永遠の0
2013年12月21日公開 監督:山崎貴
©映画「永遠の0」製作委員会
2015年 第38回日本アカデミー賞 最優秀作品賞



ちはやふる 上の句-
2016年3月19日公開 監督:小島健太
©映画「ちはやふる」製作委員会



踊る大捜査線 THE FINAL
新たなる希望
2012年9月7日公開 監督:本広克行
©フジテレビジョン アイ・エヌ・ピー



BRAVE HEARTS 海猿
2012年7月13日公開 監督:羽住英一郎
©フジテレビジョン ROBOT ボニー・キャニオン 東宝
小学館 エー・チーム FNS27社
2012年興行収入第1位



幕が上がる
2015年2月28日公開 監督:本広克行
©2015年田オリサ・講談社/フジテレビジョン
東映 ROBOT 電通 講談社 バレコ



Love Letter
1995年3月25日公開 監督:堤井敏二
©フジテレビジョン

TVCM



大和ハウス / 企業広告
2013年 第51回ギャラクシー賞 CM部門 通賞
2014年 第54回 ACC CM FESTIVAL CM部門 ACCゴールド



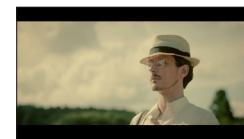
KIRIN / 麒麟淡麗(生)



KIRIN / 生茶



旭化成 / 企業広告
2010年 ADCグランプリ
2010年 第54回 ACC CM FESTIVAL テレビCM部門 ACCブロンズ



宮崎県小林市 / ンダモシタン小林
2016年 第69回 広告電通賞 デジタルメディア広告電通賞
企業・公共部門最優秀賞
2016年 第53回ギャラクシー賞 CM部門 最優秀賞
2016年 第54回 ACC CM FESTIVAL
インターネット部門 ACCグランプリ
フィルム部門(8カテゴリー) ACCゴールド



宮城県登米市 / Go!Hatto登米無双
2017年 SSFF & ASIA 2017 第4回観光映画大賞(観光庁長官賞)



nepia / Tissue Animals
2014年 第17回アジア太平洋広告祭(ADFEST 2014)
FILM CRAFT部門 BRONZE (銀賞)
2014年 One Show Design部門 Silver Pencil(銀賞)
2014年 アナザー・デザイン・アワード映画部 コーポレート部門
Crystal for Commissioned Film(グランプリ)

GRAPHIC



Krispy Kreme Doughnuts /
プロモーション・ビジュアルデザイン

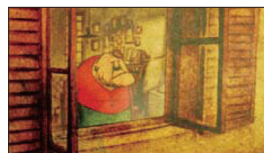


SUBARU / LEVORG



miki house / 企業広告

ANIMATION



つみきのいえ
©ROBOT
2009年 第81回アガター賞 短編アニメーション賞
2008年 アナザー・デザイン・アワードアニメーション部門 最優秀賞
2008年 広島国際アニメーションフェスティバル ヒロシマ賞
2008年 文化庁メディア芸術祭アニメーション部門 大賞



紙兎ロペ
©紙兎ロペプロジェクト2017/フジテレビジョン



カーリー・コニ
©pap-ROBOT/Carino Coni Project



みんなのぶた
©みんなのぶたパートナーズ

VR



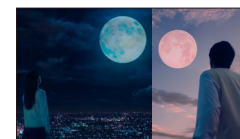
WIRELESS MOTION &
MULTIPLAY VR
ABAL

Projection Mapping



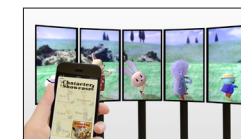
SUBARU /
Our gratitude to the Shinjuku area

8K



8K HDR Fantasy
LUNA

Digital Signage



Multi Vision Control System

APP



STRAY SHEEP ポーのクリスマス /
iPad アプリ

WEB



aniry official web store /
ECサイト



Mr.Children / アーティストサイト

地域創生 OFFER MENU

地域ブランディング

地域の魅力を最大化するためのコンセプト設計とデザイン開発

コンテンツ制作

映像、グラフィック、デジタルなど媒体に最適化したコンテンツの企画・制作

ウェブサイト、ECサイト制作

オウンドメディア、SNS、その他のwebメディアとの連携を見据えた総括的なウェブサイトの企画・制作・運営

イベント企画運営

映画祭をはじめとした地域に密着したイベント企画・実施・運営

商品企画

地域の特産品など特徴を生かした商品開発やプロダクトのデザイン

人材育成

現役クリエイターのワークショップなど、地域で活躍する人材の育成



CASE STUDY 01

【 熊本県 熊本県いぐさ・畳表活性化連絡協議会 】

いぐさの全国PRとブランディング

国産畳は、中国産畳・化学畳に押され、今では市場シェア20%を割り込み、

国内シェア96%を誇る熊本県でも生産農家は残り500戸を切り存続が危ぶまれています。

2020年までの5年間、様々な話題作りを行いながら、国産品の優れている点を発信していき産業の活性化を目指します。

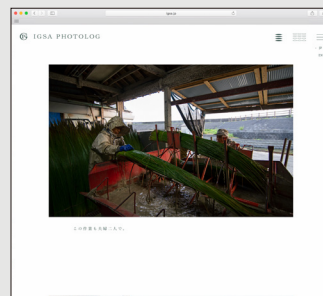
「IGSA PROJECT」

畳・イグサのブランドサイトを洗練された写真を中心とし制作しました。さらに、PR施策第一弾として「食べられるお箸(畳味)」を開発。

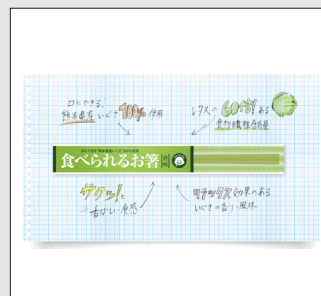
公開後2ヶ月の2017年5月時点で情報が出続ける状況を作れています。



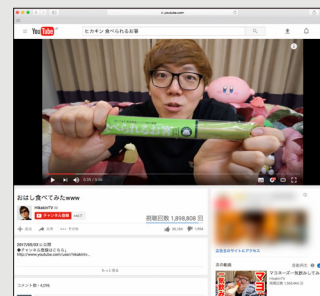
ロゴデザイン



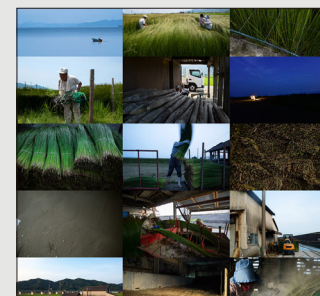
WEBサイト



プロダクト



PR(オンライン拡散)



IGSA PHOTOLOG

CASE STUDY 02

【 熊本県合志市映像クリエイター育成事業 】

合志市クリエイター塾

『市民作家100人の育成』と『市民作家による地域の魅力発信』を目標にかかげ、熊本県合志市との共同プロジェクトとしてクリエイティブ塾をプロデュースしています。

全国で活躍する現役クリエイター（映画監督、脚本家、CMプランナーなど）を講師として招聘、地元のみなさんを中心に幅広い地域から、プロアマ問わず生徒を募集し、セミナー形式の授業・実習形式の創作活動サポート・起業支援を行っています。



ロゴデザイン



WEBサイト



授業風景



授業風景



授業風景

CASE STUDY 03

【香川県】

さぬき映画祭

香川県出身の映画監督・本広克行をディレクターに迎え、話題の新作から古典的名作・若手監督等の短編上映、多彩なゲストによるトークショーや香川県名物さぬきうどんを巡るツアー、ゾンビメイクの体験まで、様々なイベントを通じ映画文化の振興、そして映画・映像に携わる人材の育成支援にも取り組んでいます。

さらに映画祭を通じて、地域の特性(シンボル)を発信することで国内外の誘客を実現、地域全体が元気になるブランディングをご提案させていただきます。

<http://www.sanukieigasai.com/>



さぬき映画祭ロゴマーク



アイドル映画サミット



2016年上映会場



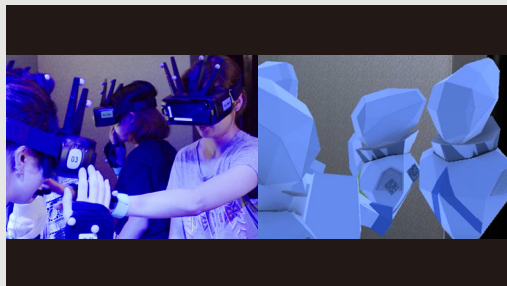
コンペティション部門 優秀企画上映



映画祭ディレクター・本広克行監督

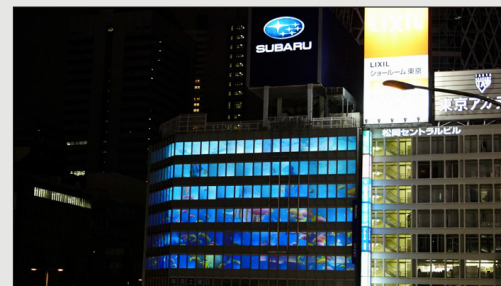
ADVANCED ENTERTAINMENT

Virtual Reality



ヴァーチャル空間内を自由に歩き回ることができる『ABAL』VRシステムをはじめ、AR、4DXなど映像エンターテインメントのアドバンスド領域において、システムおよびコンテンツの開発に取り組んでいます。

プロジェクションマッピング



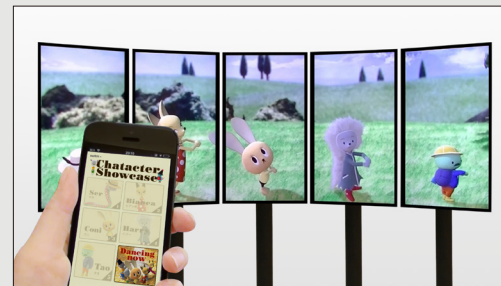
商業ビルやモニュメントなどを投影ターゲットにした屋外の大型プロジェクションや、屋内イベントでのプロジェクションなど、大小さまざまな規模での実施事例があります。常設運営のほかに、期間限定のイベントとしてなど、フレキシブルな展開が可能です。

8K(スーパーハイビジョン)

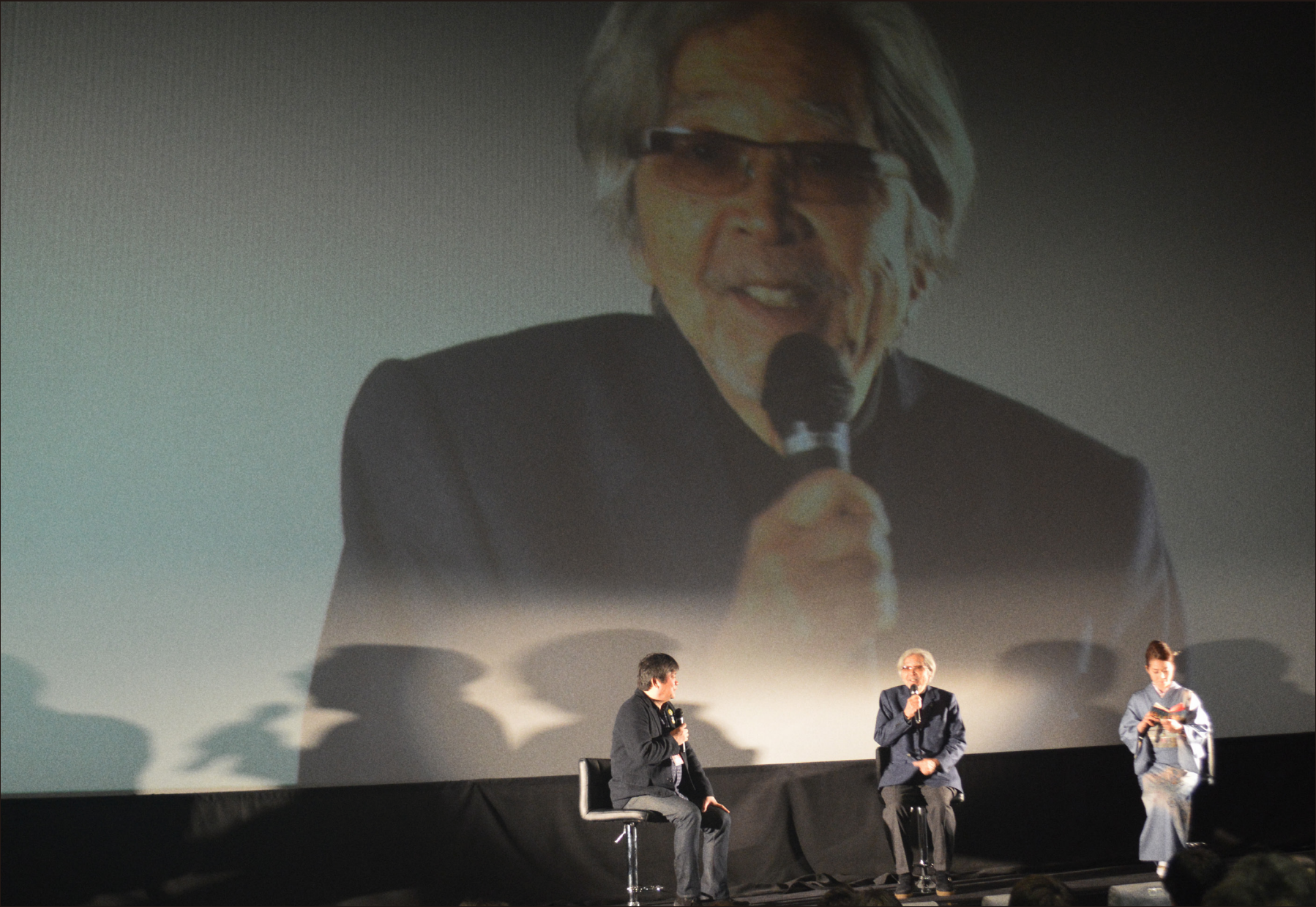


総務省およびNHKが推進する『8K映像』の企画制作に取り組んでいます。人の眼の有効視野を越える横8000画素のスーパーハイビジョン画質の活用により、新たなエンターテインメントの開発や、歴史的文化財や無形文化財の記録保全などの展開が期待されます。

Multi Vision Control System

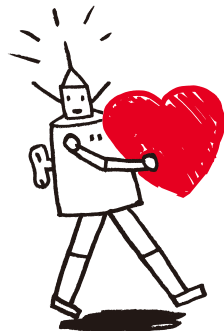


大型ディスプレイを利用したデジタルサイネージシステムを開発しています。ユーザーインタラクションによる表示の切り替えや、複数のディスプレイの連動などが可能で、幅広い用途で訴求力の高いコミュニケーションツールとして活用されています。



PROJECT PROCESS





ROBOT Communications inc.

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-9-7

〈代表〉03-3760-1171

〈直通〉03-3760-1290 / 担当: 大谷

local@robot.co.jp